



相沢あきこ

千歳市議会活動だより

相沢あきこ通信

2023/6/8発行

No.2

〒066-0028

千歳市花園3丁目9-11

電話 080-1895-7912

eメール ryoteniharu@gmail.com

～皆さんお元気ですか！～

初当選から2年が経ちました。4年任期の折り返しです。

もちろん、日々勉強です。最近ば「道の駅」や「ラピダス」などの件で、話題・課題に事欠かないです。皆さんのご意見を頂きながら、引き続き市議会の場において、取り上げて参ります。



民生委員について



5月の「広報ちとせ」をご覧になりましたか？

「今月の焦点」というコーナーで、民生委員・児童委員の事が取り上げられています。

私も尊敬してやまない民生・児童委員さんの活動について一般質問でお伺いしました。

主に充足率・男女比率について質問しましたが、なり手不足が全国的に深刻な中、候補者への事前研修の実施を提案しましたが、しかしそれは難し

いとのこと。委員の新規就任者に対しては、道が行っている研修会は毎年行われているとの答弁でした。その前の段階での予備知識としての必要性を感じての提案だったため、残念です。

若い方・仕事をしている方、そして市の職員・元職員の方など、積極的に地域と関わって頂き、街のコミュニティの活性化を多くの方で目指すため、報酬を上げる事を全国市長会などで提案してもらえないかと伺ったところ、なんと既に「市長会で提案している。」との答弁でした。なり手不足の解消には報酬増額が不可欠と考えます。今後も実現に向け、努力して参ります。

人気も上々となっていた“道の駅サーモンパーク” 観光シーズンなのに閉鎖中…

多くの千歳市民の皆さんも怒り心頭・あきれ顔…！

☆市内花園にある道の駅は、今年3月末をもって「指定管理者」が変更になりました。

☆現在、新しい指定管理者がリニューアル工事を行っています。再オープンはなんと9月です。市民に何のお知らせも無く。

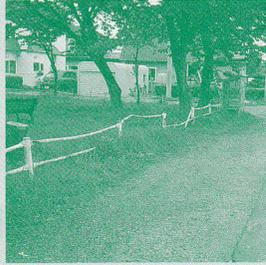
☆指定管理者を選定するのは道の駅設置者の市です。市の責任はどうなっているのでしょうか。

(注)もう少し詳しい内容と、私の考察は別紙とさせていただきます。



劣化が著しい公園のフェンスなど…!

市内には少々大きめの“街区公園”と呼ばれる、市民の皆さんにとって一番身近な公園が約150カ所あります。その公園の維持管理について質問しました。特に公園の柵・フェンスがひどく錆びていたり、傾いていたり、破損しているところが多く、とても残念だと見ています。そして、公園内の樹木についても、大きくなりすぎて電線にかかってしまうものも散見されています。また、樹木を伐採した後の切り株が放置され、子どもの遊びの妨げになるところもあります。それらへの対応をお伺いしました。



市はそれぞれの公園施設や樹木を優先度が高い順に整備を進めており、安全第一で管理しているとの答弁に終始していました。

大きくなりすぎた樹木が、もし強風で倒れたりした場合など、市民皆さんの生活への影響も大きいのが、公園整備です。

引き続き、皆さんの声をお聞きし、市政につなげて参ります。

これまた劣化が著しい“プラネタリウム”!



市民文化センター内のプラネタリウムを調査しました。施設・設備の老朽化が進んでいる

こと、また、利用者が少ない事に疑問を持ちました。

設備の老朽化については、影響が大きいものは逐次更新している事を確認しました。しかしながら、老朽化が目立つ座席など、利用の市民の皆さんが直接触れる設備の更新はなかなか実施されていません。使用はできるものの、快適さにおいて著しい難点があるものについては、利用頻度にも影響があると考えます。多くの市民の皆さんが利用し、施設を管理する市に対し、声を届けてください。

利用が少ない事に関しては、小中学生へプラネタリウムの存在や内容を宣伝する事が重要です。各学校への周知をお願いしました。市からは、学校で配布する「からふる」という教育委員会だよりにて宣伝するとの答弁があり、掲載された事を確認できました。

多くのちとせっ子の利用・見学につながる事を期待しています。

行政視察

～ 公共施設の適切な維持管理 〈倉敷市〉

公共施設管理のノウハウを学んできました。公共施設の適切な維持管理は各市町村が頭を悩ませているところです。倉敷市においては、各公共施設を市が一元的に管理・把握し、利用者の少ない施設については、大胆に廃止や合併しており、市民の理解を得つつ人口動態の変化にも適切に対応しているように感じました。

千歳市においても、老朽化が進んでいる公共施設は散見されます。それらの「施設の必要性を適切・客観的に把握し、今後も維持管理、又は廃止・合併なども的確に視野に入れ、勿論、市民皆さんの理解を得ながら、税金の適切な運用をきちんとチェックできる目」を養おうと決意した視察となりました。

議員研修会



困った「政治家・官僚」

議員の資質研鑽のため、年に一度勉強会があります。今回は、「自分ごと化会議 あなたもあたるかもしれない『くじ引き民主主義』の時代へ」をテーマに、伊藤伸さんという方の講演を聴きました。政策シンクタンク・構想日本の総括ディレクターであり、デジタル庁参与であるという伊藤氏の話はとても勉強になりました。

伊藤氏は「霞ヶ関」の事情に大変詳しく、官僚の皆さんの優秀ぶりを語っていました。興味深かったのは、「官僚の皆さんというのはものすごく優秀なので、たとえ政治家が間違っ

た判断をしたとしても、それにそった道筋を作る事ができる。」という内容でした。衝撃的でした。私はこれを「今までも優秀な官僚のおかげで、間違っ

た政策がまかり通ってきた、ということだ。」と捉えました。これは、国だけで起こっている事だとは思いません。地方自治体でも、当然起こっている事でしょう。政治家が白と言え

どうしちゃったんでしょうか…!

千歳市自慢の『道の駅・サーモンパーク千歳』

千歳市議会議員

相沢あきこ

道の駅・サーモンパーク千歳が、現在閉鎖中です。寂しい限りです。

トイレと観光コーナーは開いていて、道の駅のスタンプは押せますが、お店は全て閉まっています。

これは、道の駅の「指定管理者」が、今年3月31日に変更となったためです。もともと、市の給食センター業務も担当しているシダックスという会社が、過去7年間ほど管理運営していました。そのシダックスが指定管理者選考で選考されず、新しく静岡に本社があるTTCという会社が指定管理者に選定されたからです。そして、そのTTCは、それまでの道の駅内の「全ての店舗を直営で経営する。」と、選考委員会のプレゼンで表明していました。



道の駅リニューアルの2015年当時に、退去の事など三者とも想定していなかったという事になります。

それなのに市は、「シダックスが各テナントと結んでいる契約書は、あくまで2023年3月末日までの期間である。」その一点で、市には非は無いとし、あくまでシダックスの「管理不行き届き」のせいにし、現状に至っています。市としては、あくまで、「指定管理業者であるシダックスが、各テナントと契約を結んでいるわけであるから、市は各テナントに対して、退去の通知などを行う必要も権限もない。」という姿勢でした。

シダックスは大手企業であり、市の給食業務なども請け負っている事から、市へ反発す



次の、道の駅の指定管理業者として応募したのは、そのTTCと、これまで管理運営してきたシダックスの2社でしたから、市がTTCを選んだという事は、「テナント・店舗は全て退去」する事になる訳です。

そして、市は各テナントに対し、指定管理業者であるシダックスが次の期間、すなわち令和5年4月以降の契約がとれなかった場合に、退去してもらう必要がある事を、説明していなかった事が、今回問題となり、揉めた原因と私は考えています。

特に、人気のあったピザドゥに対しては、当時、市の職員とシダックス社員が一緒になって誘致している経緯があります。そして、ピザ窯の設置のための基礎工事まで、市で行っているのです。すなわち、その時点、



る事は得策では無いと判断したのでしょうか、多額の賠償金を各テナントに支払い、退去を完了させました。

しかしながらまだ、ピザドゥさんとは話し合いが続いていると聞いています。市は、道の駅の指定管理業者を選定する際、「新しい業者を選んだ際に、いつ再オープンできるか。」という視点は無かったようです。残念ながら、再オープンは9月になるという状況です。TTCの周知不足で市民も観光客も知らない状況です。

市民の税金が投入されているものと考えられる、道の駅なのに、ずさんな運営と感じます。これからも、推移を充分見守っていきたいと考えています。